

令和2年度事業計画

1 基本方針

わが国では、世界に類を見ない人口の少子高齢化が進行しています。これは地方において先行して進み、伊那市においても人口減少と高齢化は顕著であり、高齢化率も平成29年6月には30%の大台に乗り、令和2年2月時点では30.90%に達しています。

また、複雑多様化する社会情勢の中で、生活困窮状態に陥る人々の増加とともに、これらに起因する子供の貧困の問題が顕在化し、家族形態においても、急激な高齢化の進展による高齢単身世帯の増加や、離婚や未婚を原因とした単身世帯の増加がみられ、地域のつながり・コミュニティの希薄化とも相まって、相談する人、頼る人がいない、家族ごと孤立しているなどの社会的孤立が拡大しています。

本会は、「ふれあい、支えあい、助け合う、お互い様の地域づくり」を目標に据え事業を行っていますが、国が進める「地域共生社会の実現」に対応し、生活困窮者への支援をはじめ、行政による既存制度では十分な対応が困難な課題に対して、住民・地域や関係機関と連携した包括的な支援体制づくりを一層推進することにより、誰もが住み慣れた場所でいきいきと暮らし続けられる地域づくりを推進していきます。

第3次伊那市地域福祉活動計画（2019年度～2023年度）は2年度目となり、計画に基づき、住民の生活課題や福祉課題の解決を図るため、新しい支援制度やサービスの創造、住民同士の交流や助け合い活動をより一層推進します。

介護保険サービス事業について、利用者の増加が得られない厳しい状況の中で、平成29年度から開始となった「新しい総合事業」の利用者比率の増により総体的に介護報酬収入が減少し、併せて、本会が提供するサービスの主な対象者である中山間地域の利用者の減少による収入減等の影響もあり、実施している各サービス事業の経営状況は引き続き厳しいため、来年度の制度改正等の動向を見据えながら、今まで以上に住民に頼りにされる事業所を目指し、事業全体の経営の健全化を目指します。

障害福祉サービス事業について、各事業所の経営安定化と地域のニーズに一層応える体制の整備を進めるとともに、利用者個々の状態に沿ったサービス提供に努めます。

本年度は、第3次経営基盤確立計画の最終年度となることから、これまでの取組みの評価と現状分析を行い、自立した社会福祉法人とするために第4次計画の策定を進め、経営方針等の抜本的見直しを図ります。

2 重点事項

(1) 地域福祉の推進

- ア 地域におけるつながりの中核となる地域社会福祉協議会は、現在120地区で組織化されていますが、全地域での組織化と活動支援を行うとともに、各種地域福祉活動を引き続き推進します。また、活動内容について、今求められている住民ニーズに合わせた内容へ変更を行います。
- イ 生活上の困りごとを地域住民のお互い様の力で解決する、地域助け合い事業「あったかご近所ネット」の取組みを広げ、担い手となる生活支援サポーターを養成します。
- ウ 新たに、「子ども・家庭応援事業」として、安心安全に遊ぶことができる場作りや、食事提供機能を付け加えた事業等への費用補助や研修会の開催等を行います。さらに、地域全体で子どもを育てる意識づくり、体制作りのために実施団体等を中心とする、ネットワーク構築を行います。
- エ 少人数で気軽に交流できる「まちの縁側づくり」事業を推進します。
- オ 地域づくりの視点を活用した「買い物・移動支援地域づくりネットワーク会議」を引き続き開催し、地域支援を行います。
- カ 伊那市と協力し「目指せ！逃げ遅れゼロ！」をスローガンに、住民自らが取り組む「災害時住民支え合いマップ」作成を支援します。

(2) 安心して暮らせる社会づくり

- ア 上伊那8市町村から受託運営している上伊那成年後見センターは、平成23年度の事業開始以来、相談件数、法人後見受任とも増え続けています。成年後見制度促進の中核機関機能を受託するとともに、各市町村行政と連携して、市民後見人や法人後見人等の後見受任者育成を行います。
- イ 障害や高齢の方で判断能力が不十分な方への日常生活自立支援事業やくらしの安心サービス事業を継続して実施します。
- ウ ふれあい相談センター事業を継続し、心配ごと相談等を実施します。幅広い生活上の悩みに対して、生活福祉資金貸付事業や「伊那市生活就労支援センター(まいさぼ伊那市)」と連携して取り組みます。
- エ ひきこもりやニート等社会的孤立者の相談や居場所「ぷりむら」の運営を引き続き行い、孤立解消や自立に向けた支援を進めます。
- オ 引きこもり、障害等複合的な課題を抱え、既存制度では支援困難な生活困窮者に対し、総合的支援を行うため、「伊那市生活就労支援センター(まいさぼ伊那市)」の運営を行うとともに、モデル事業とし

て包括化推進員を配置し、関係機関のコーディネートを行います。さらに、貧困の連鎖を防止するため、引き続き「子どもの学習・生活支援事業」を受託運営します。

また、新たに、引きこもり支援を行う「アウトリーチ支援員」を配置し、当事者や家族とつながり続けることを目的とした支援を行います。

カ 赤い羽根共同募金と企業CSR（地域貢献）活動との連携によって誕生した「伊那市寄付マルシェ」や、飲食店等に募金箱を設置し気軽に寄付を行える「募金箱プロジェクト」の取組みを進めます。

(3) 介護保険サービス事業等の経営改善

ア 「自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現」に引き続き取り組むとともに、各サービス事業において、各種加算の算定・維持に努め、サービスの質の向上と収入の増加を図ります。

イ 通所介護事業では、心身機能の維持に資するサービスを提供するため、理学療法士と各事業所職員との協働により、その実現に努めます。

また、中山間地域に所在していることや、使用している市の指定管理施設の老朽化が進んでいること等、事業所を取り巻く環境や地域特性、課題に合わせ、事業所体制の見直しを進めます。

ウ 訪問介護事業については、事業継続のための人材の確保・育成が喫緊の課題となっています。今後一層の増加が見込まれる要支援等の軽度の利用者への生活援助のサービスを提供する担い手の確保等、地域の共通課題として他事業者等とも連携しながら解決に取り組めます。

エ 「総合事業」において一般介護予防事業の介護予防普及啓発事業として位置づけられた「脳いきいき教室」について、伊那市と連携しながら、より多くの対象高齢者の参加が得られるよう、ニーズに合った柔軟な内容のプログラムの提供に努め、高齢者の地域での活動維持に取り組めます。

(4) 障害福祉サービス事業等の健全経営と充実

ア 利用者が、日々の生活に充実感や楽しみを感じられるよう事業内容の充実を図るとともに、地域のニーズに応えるために、新たなサービスの提供について研究を継続します。

イ 障害者多機能型事業所の内「ゆめわーく」と「さくらの家」について、利用者の一層の確保と事業体制の効率化等により経営の安定化を図ります。

ウ 利用者の就労意欲の支えとなる工賃アップに向けて3事業所が定期的な情報共有等を行い、連携・協働して独自製品の開発や新たな受注企業等の開拓に積極的に取り組めます。

- エ 施設外就労や施設外支援の受入れが可能な企業等の開拓や農福連携事業での行政や農家との協働を進め、利用者の就労訓練の機会を増やして、一人でも多くの利用者が一般就労へ結びつくよう支援します。
- オ 利用者の自立した生活を支援する計画相談支援の充実を地域ぐるみで進めるため、関係機関等との連携を強化します。
- カ 利用者の余暇支援事業として行う「わくわくホリデー」の内容を充実し、より多くの利用者のニーズに応えるサービスを提供します。
- キ 地域活動支援センターについて、現在の福祉まちづくりセンターから改築後の新センターへ会場を移転した後も、より多くの障害者に求められるサービスとなるよう、事業体制の見直しを進めます。

(5) 組織の持続的な発展

- ア 第3次経営基盤確立計画の最終年度を迎え、計画に基づく施策の検証及び評価を行う中で、次期計画の策定を行います。
「社協・生活支援活動強化方針～地域共生社会の実現に向けた事業・活動の展開～」(全国社会福祉協議会・2018年3月)等に基づくこれからの伊那市の福祉のあり方について、伊那市と協働して検討し、本会としての方針を次期計画に反映させます。
- イ 経営戦略に基づく各事業所の自主的な経営改善を徹底し、効果的で効率的な事業経営を進めます。
- ウ 昨年度から実施した雇用形態や給与・賃金体系の見直しにより、全職員の適正処遇と意欲向上、資質向上を推進し、キャリアパス制度を定着させ、その上で、それと連動した人事評価システムを構築します。
- エ 本会の理念や目的、経営状況等について職員が自覚し、組織の一員としてそれぞれの責任を果たせるよう、階層別研修や専門研修を実施します。
- オ 今年度に建設工事が実施される新しい福祉まちづくりセンターについて、完成後の機能やその運営の充実等に向けて、伊那市と協働してその実現に取り組みます。

3 事業の概要

(単位：千円)

拠点区分名									
法人・地域福祉									
事業名	事業の概要	収入 予算額	財源内訳					支出 予算額	
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他		
1	法人運営	106,551	10,950	21,300			48,272	26,029	106,551
	法人運営に必要な事務を行い、組織全体の調整、強化をすすめる。 (1) 理事会、評議員会、監査会等の運営 585 (2) 人件費（役員報酬、総合正規（3人+6月+9月）、派遣1人、退職給付金） 56,101 (3) 事務費（福利厚生費、諸謝金、消耗品、印刷製本、通信運搬、会議費等） 3,752 (4) 業務委託費、手数料、賃借料、諸会費、租税公課、雑費、助成金等 6,564 (5) 職員の資質向上を図るため各種研修会の実施及び研修参加に関する費用 836 (6) 財務活動（退職金共済積立金・年金共済） 22,244								
事業名	事業の概要	予算額	会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他	支出 予算額	
2	上伊那成年 後見セン ター	26,670		21,450			5,220	26,670	
◎	上伊那8市町村から委託を受け、成年後見制度の普及及び相談、受任事業を行う。 (1) 職員人件費 総合正規4人分、所長(2月分)、生活支援員 22,844 (2) 職員増による公用車（リース）1台増 276 (3) 住民に対する成年後見制度の普及、啓発事業 154 ・上伊那成年後見セミナーの開催								
事業名	事業の概要	予算額	会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他	支出 予算額	
3	高齢者クラ ブ連合会事 務	1,601		1,601				1,601	
	伊那市高齢者クラブ連合会事務を行う。 (1) 職員人件費 一般正規（7月分） 1,463								
事業名	事業の概要	予算額	会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他	支出 予算額	
4	生活困窮者 自立支援事 業（総合相 談）	17,429		17,429				17,429	
◎	生活困窮者自立支援法に基づき、様々な複合的課題を抱えた制度の隙間にある人を横断的に 受け止め、生活福祉資金の貸付や居場所支援事業など、他事業と連携を取りながらその人らし い自立生活や就労に向けた自立相談支援事業等を行う。 (1) 職員人件費 総合正規2人（アウトリーチ支援員増）、係長(2月分)、準正規1人 15,577								
事業名	事業の概要	予算額	会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他	支出 予算額	
5	生活困窮者 自立支援事 業（家計相 談）	335		335				335	
	生活困窮者自立支援法に基づき、生活費の管理が上手いかず生活に困窮する世帯等に対し、 家計指導を行うなどして、自立生活に向けた自立相談支援事業を行う。 (1) 職員人件費 準正規(月4日分) 327								
☆：新規 ◎：充実 △：縮小 ×：廃止									

(単位：千円)

拠点区分名								
法人・地域福祉								
事業名	事業の概要	予算額	財源内訳					支出 予算額
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他	
6	生活困窮者 自立支援事 業（一時生 活支援）	160		160				160
生活困窮者自立支援法に基づき、住居や食料等の不足している生活困窮者に対して、一時的な食料の配給や宿泊施設などへの一時保護を行う。 (1) 一時生活支援事業（一時宿泊、衣食提供）								160
事業名	事業の概要	予算額	財源内訳					支出 予算額
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他	
7	生活困窮者 自立支援事 業（子ども の学習・生 活支援）	606		606				606
社会福祉課や子育て支援課、学校教育課等との綿密な連携を取りながら、ひとり親家庭や生活困窮世帯における子ども等に対する、育成環境の改善のための食育活動や学習支援活動を行い、日常生活習慣の改善や社会性の育成を行い貧困の連鎖を防止する。 (1) 相談支援員給与手当 (2) 学習支援員等謝金								242 327
事業名	事業の概要	予算額	財源内訳					支出 予算額
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他	
8	断らない相 談支援を中 核とする包 括的支援 （多機関の 協働による 包括的支援 体制構築）	12,302		12,302				12,302
複雑化・複合化した課題に的確に的確に対応するために、各制度ごとの相談支援機関を総合的にコーディネートするため相談支援包括化支援員を配置し、チームでの支援体制づくりを推進する。 (1) 職員人件費（包括化推進員）一般正規1名、準正規1名 (2) 引きこもり等、地域社会からの孤立者に対するのカウンセリング及び講座								11,043 669
事業名	事業の概要	予算額	財源内訳					支出 予算額
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他	
9	ふれあい～ な管理	16,189		13,496		2,633	60	16,189
伊那市福祉まちづくりセンター「ふれあい～な」の施設管理及び福祉バス等の貸出を行う。 (1) 職員人件費 総合正規1名、準正規3名 (2) 事務費（施設管理保守点検、委託料、福利厚生費等） (3) 事業費（消耗品、光熱水費、修繕、夜間管理費、賃借料等）								7,316 1,512 6,988
事業名	事業の概要	収 入 予算額	財源内訳					支出 予算額
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他	
10	脳いきいき 教室	35,091		35,091				35,091
新しい総合事業において一般介護予防事業の介護予防普及啓発事業として改めて位置づけられた中で、生きがい対策と転倒骨折予防・筋力低下予防・閉じこもり予防・認知症予防等を目的とした通所型事業を実施する。115会場、118コースで開催予定。 実参加人数：1,530人 1回平均参加人数：9.5人 (1) 職員人件費 総合正規1名+1名(3ヵ月分)、一般正規2名、一般再雇用1名、準正規12名 (2) 事務費（福利厚生費等） (3) 事業費（講師謝金、自家用車業務使用料等）								30,061 383 4,088
☆：新規 ◎：充実 △：縮小 ×：廃止								

(単位：千円)

拠点区分名									
法人・地域福祉									
事業名	事業の概要	収入 予算額	財源内訳					支出 予算額	
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他		
11	高齢者生活福祉センターくつろぎの家	10,450		8,866				1,584	10,450
<p>入居の対象となる高齢者に対し、一定の期間、住居を提供するとともに、生活援助員が相談及び緊急時の対応等を行う。全11室(1人用：7室 2人用：4室)</p> <p>(1) 職員人件費(準正規3名) 8,718</p> <p>(2) 事務費(設備保守料等) 367</p> <p>(3) 事業費(光熱水費、修繕費等) 1,365</p>									
事業名	事業の概要	収入 予算額	財源内訳					支出 予算額	
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他		
12	高齢者専用住宅(長谷)	1,464						1,464	1,464
<p>入居する高齢者に対し、相談及び緊急時の対応等を行う。全8室(1人用：5室 2人用：3室)</p> <p>(1) 準正規職員1人分人件費 1,283</p> <p>(2) 事業費(修繕費等) 181</p>									
事業名	事業の概要	収入 予算額	財源内訳					支出 予算額	
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他		
13	地域活動支援センター	8,114		6,900			1,214	8,114	
<p>障害者に対して、各種の創作的活動又は生産活動の機会の提供及び社会との交流の促進を図る等の支援を行う通所型事業を実施する。15講座を実施予定</p> <p>講座内容及び実施体制の見直しを行う。</p> <p>一日当たり平均参加人数：13人</p> <p>(1) 職員人件費 総合正規1名(6月分)、一般正規1名 5,935</p> <p>(2) 事務費(福利厚生費等) 69</p> <p>(3) 事業費(講師謝金、光熱水費等) 1,867</p>									
事業名	事業の概要	予算額	財源内訳					支出 予算額	
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他		
14	広報事業	586					586	586	
<p>会活動及び伊那市の福祉について市民に周知するための事業を実施する。</p> <p>(1) CATV きらきら☆ふくし作成委託費 459</p>									
事業名	事業の概要	予算額	財源内訳					支出 予算額	
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他		
15	障害者理解促進・啓発事業	386		386				386	
<p>障害者に対する「社会的障壁」を除去し共生社会の実現を図るため、障害者等に対する理解を深める研修や啓発事業を行う。</p> <p>(1) 職員人件費 一般正規(2月分) 382</p>									
事業名	事業の概要	予算額	財源内訳					支出 予算額	
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他		
16	障害者余暇活動支援事業	0						0	
<p>☆：新規 ◎：充実 △：縮小 ×：廃止</p>									

(単位：千円)

拠点区分名								
法人・地域福祉								
事業名	事業の概要	予算額	財源内訳					支出 予算額
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他	
17	ボランティア・地域活動応援センター	8,200		8,200				8,200
	ボランティア活動の普及啓発を図るとともに、活動者の育成やマッチング支援等を行う。 また、学生に対して思いやりの心を育てるための福祉教育を行う。 (1) 職員人件費 一般正規2名 (2) 伊那市ボランティア研究集会 (3) 災害ボランティア研修							5,468 42 62
18	ふれあい相談センター	2,735		2,735				2,735
	市民等からの各種相談に応じるとともに、専門機関との連絡調整を行う。 (1) 職員人件費 一般正規(4月分)、準正規1名 (2) 司法書士、弁護士等専門職による相談の実施							2,113 415
19	地域福祉推進事業	14,032		3,082		10,950		14,032
	地域の福祉課題等に対して、住民同士の助け合い活動の支援、企画及び啓発を行い、お互い様の地域づくりを推進する。 (1) 伊那市社会福祉大会開催 (2) 地区社協への会費還元 (3) 地域社協への会費還元 (4) 地域社協等の活動助成							588 3,180 3,070 6,600
20	断らない相談支援を中核とする包括的支援(地域力強化推進事業)	8,030		8,030				8,030
	共生社会の実現に向けて官民協働の仕組みを検討し、地域住民の共助意識の向上や、具体的な助け合い活動が進むように取組みを行う。買い物支援や、まちづくり、災害時マップ等、福祉以外の他分野との協働による地域課題の把握や解決を試みる体制づくりを行う。また、専門的なアドバイザー(信州大学井上先生)を招き、共生社会実現に向けた定期的な検討の機会を作る。 (1) 職員人件費 総合正規1名、係長(2月分) (2) 災害時住民支え合いマップ作成支援(マニュアル作成、費用補助、セミナー開催等) (3) 官民協働の取組み検討(会議開催、アドバイザー派遣等)							6,276 750 150
21	生活支援体制整備事業	33,959		33,959				33,959
	地域福祉コーディネーター(介護保険制度における生活支援コーディネーター)を配置し、高齢者支援のニーズをはじめとする地域福祉課題解決に向けて、住民活動の組織化や関係者のネットワーク化及び地域福祉活動の企画、実施、評価等を行い、お互いさまの地域づくりを推進する。 (1) 職員人件費 総合正規7名 (2) 生活支援・介護予防サポーター養成講座及びフォローアップ講座 (3) 地域サロン活動推進講座							30,091 348 172

☆：新規 ◎：充実 △：縮小 ×：廃止

(単位：千円)

拠点区分名								
法人・地域福祉								
事業名	事業の概要	予算額	財源内訳					支出 予算額
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他	
22	手話奉仕員 等養成事業	1,330		1,330				1,330
	上伊那8市町村からの委託を受け、障害者のコミュニケーション手段を確保するため、手話通訳・点訳・音訳・要約筆記の奉仕員等養成講座を開催する。 (1) 職員人件費 一般正規(3月分) 670 (2) 講師謝礼等 654							
23	介護支援ボ ランティア ポイント事 業	2,983		2,983				2,983
	地域福祉の担い手となるボランティア活動を行う人材の育成、確保及び高齢者の方々の社会参加による生きがいづくりや介護予防を目指すため、ボランティアポイント制度を規定し、受け入れ施設の開拓及び参加者とのマッチング、施設やボランティアとの交流機会を設定し、お互いの意思疎通を図る。 (1) 職員人件費 準正規(6時間×月20日) 1,764 (2) ポイント還元金 875 (3) 施設ボランティア交流研修会 82							
24	日常生活自 立支援事業	2,950		2,010			940	2,950
	判断能力が不十分な方の金銭管理等をサポートする事業を実施する。(県社協からの受託事業) (1) 職員人件費 一般正規(9月分)、準正規3名 2,479							
25	生活福祉資 金事業	1,531		1,531				1,531
	低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯に対して、必要な相談・支援と資金貸付(低利又は無利子)を行い、経済的自立や在宅福祉・社会参加の促進を図る。(県社協からの受託事業) (1) 職員人件費 一般正規(2月分) 918 (2) 民生委員指導時費用弁償 456							
26	世帯更生資 金事業	1,500				1,216	284	1,500
	最小限生活に必要な資金(限度額10万円)を、対象となる世帯に貸し付け更生を図る。							
27	生活困窮者 就労訓練事 業	2,841				313	2,528	2,841
	引きこもりや生活困窮の状態にあり、就労意欲はあるもののすぐに就労することが困難な者に対して、軽作業を通じて就労に必要なスキルを身につけて一般就労に結びつけ、社会的自立を目指す。 (1) 墓地見守りサービス事業経費 25 (2) 参加者給付金(生活困窮者訓練及び伊那ぶちバイト) 2,756							

☆：新規 ◎：充実 △：縮小 ×：廃止

(単位：千円)

拠点区分名									
法人・地域福祉									
事業名	事業の概要	予算額	財源内訳					支出 予算額	
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他		
28	福祉有償運 送事業	986		276				710	986
									685
伊那市身体障害者福祉協会が実施してきた福祉有償運送事業の廃止に伴い、同会員を対象にした同事業の一部を本会が継承し実施する。 (1) 運転手等職員給与									
事業名	事業の概要	予算額	財源内訳					支出 予算額	
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他		
29	子ども・家 庭応援事業	741					741		741
☆									552
									92
子ども達が健やかに育ち、父母等の養育者が安心して子育てができる地域をめざし、各団体等と連携し、安心安全に遊べる子どもの居場所づくりを行い、地域資源のネットワーク化を行う。 (1) 子どもの遊び場助成 (8団体) (2) リスクマネジメント研修									
事業名	事業の概要	予算額	財源内訳					支出 予算額	
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他		
30	共同募金配 分事業	7,400						7,400	7,400
									1,920
									530
									1,470
									1,557
									313
									1,350
共同募金配分金を原資に、地域の福祉ニーズに沿った助成事業を行う。 (1) 地区、地域社協助成 (2) 社会福祉大会開催 (3) 居場所支援事業助成 (4) ボランティア団体、障害者団体等助成 (5) 新規社会福祉事業に関する調査、企画 (生活困窮者支援、ファンドレイジング等) (6) ふくし伊那の発行、社協ホームページ管理等									
拠点区分計		327,152	10,950	204,058	0	65,925	46,219	327,152	
☆：新規 ◎：充実 △：縮小 ×：廃止									

(単位：千円)

拠点区分名								
介護保険サービス								
事業名	事業の概要	収入 予算額	収入内訳					支出 予算額
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入金	その他	
31	介護保険総務	24,465				24,465		24,465
	介護保険事業の請求事務他の総務業務 (1) 職員人件費 総合正規2名(各6月分) 8,685 (2) 事務費(福利厚生費等) 3,183 (3) 法人運営拠点区分繰入金支出 (法人全体に係る経費の按分額等) 12,552							
32	居宅介護支援	66,066		5,400	60,600		66	65,795
	利用者の意向に沿ったサービス利用計画(ケアプラン)の作成を行い、適正にサービスの提供がされるよう事業者等との連絡調整を図る。事業体制をより充実し、特定事業所加算(Ⅱ)を継続算定する。また、介護者支援のための交流会を継続開催する。 月平均ケアプラン作成件数：要介護295件、要支援等95件 ケアマネ一人当たりの平均担当件数：要介護24.5件、要支援等9.0件、合計29.0件(要支援は1/2で換算し加算) (1) 職員人件費 総合正規6名、一般正規5名、準正規3名 47,679 (2) 事業費(水道光熱費、車輛費等) 1,435 (3) 事務費(事務消耗品、通信運搬費、訪問車両等賃借料等) 4,538							
33	訪問介護センター伊那	51,457			51,457			51,391
	ケアプランに基づき、ホームヘルパーが利用者宅を訪問し、身体介護・生活支援等のサービスを提供する(介護保険サービス、障害福祉サービス)。介護保険の要支援認定者等に対し、新しい総合事業における訪問型サービスを提供する。ほかにママヘルプサービス等を実施する。 (介護保険) 一日平均訪問回数：要介護24.5回、要支援等8.5回 (障害福祉) 一日平均訪問回数：12.5回 (1) 職員人件費 総合正規4名、一般正規2名、準正規22名 43,101 (2) 事業費(車輛費、直行直帰職員自家用車業務使用料等) 3,207 (3) 事務費(事務消耗品、通信運搬費、訪問車両等賃借料等) 2,208							
34	訪問介護センター高遠	26,812		540	26,272			25,923
	ケアプランに基づき、ホームヘルパーが利用者宅を訪問し、身体介護・生活支援等のサービスを提供する(介護保険サービス、障害福祉サービス)。介護保険の要支援認定者等に対し、新しい総合事業における訪問型サービスを提供する。ほかにママヘルプサービス等を実施する。 「伊那市中山間地域介護サービス提供体制確保事業(仮)」補助金の交付を受ける。 (介護保険) 一日平均訪問回数：要介護15.5回、要支援等3.0回 (障害福祉) 一日平均訪問回数：2.0回 (1) 職員人件費 総合正規2名、一般正規1名、準正規等6名 19,373 (2) 事業費(車輛費、直行直帰職員自家用車業務使用料等) 1,884 (3) 事務費(事務消耗品、通信運搬費、訪問車両等賃借料等) 2,168							

☆：新規 ◎：充実 △：縮小 ×：廃止

(単位：千円)

拠点区分名								
介護保険サービス								
事業名	事業の概要	収入 予算額	収入内訳				支出 予算額	
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入金 その他		
35	訪問入浴	19,158		7	19,151		18,268	
	<p>ケアプランに基づき、看護師・入浴スタッフが利用者宅を訪問し、入浴介助を行う。近隣他町村の利用者の確保に努める。 「伊那市中山間地域介護サービス提供体制確保事業（仮）」補助金の交付を受ける。 一日平均訪問回数：要介護＋要支援4.0、障害1.5回</p> <p>(1) 職員人件費 総合正規1名、準正規9名 12,626 (2) 事業費（燃料費、車輛費、タオルリース料等） 1,299 (3) 事務費（事務消耗品、通信運搬費、入浴車両等賃借料等） 2,163</p>							
事業名	事業の概要	収入 予算額	収入内訳				支出 予算額	
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入金 その他		
36	デイサービスセンター 春富ふくじゅ園	58,419			58,419		58,350	
	<p>要介護認定者に対する指定通所介護（利用定員30名）、及び要支援認定者に対する新しい総合事業における通所型サービスを提供する。 自立支援・重度化防止に資するサービスを充実し、各種加算の維持・取得に努める。 一日平均利用者数：要介護18.5人、要支援等7.5人 2019年度の施設使用負担金免除</p> <p>(1) 職員人件費 総合正規3名、一般正規4名、準正規8名 33,693 (2) 事業費 9,375 ・給食材料費 2,220 ・水道光熱費、燃料費 5,954 ・賃借料（タオルリース料） 120 ・車輛費 1,051 (3) 事務費 10,888 ・事務消耗品費 654 ・給食調理委託費 4,886 ・賃借料（送迎車両、PC・ソフトリース料等） 3,552</p>							
事業名	事業の概要	収入 予算額	収入内訳				支出 予算額	
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入金 その他		
37	デイサービスセンター くつろぎの家	44,477			44,477		50,112	
	<p>要介護認定者に対する地域密着型通所介護（利用定員18名）、及び要支援認定者に対する新しい総合事業における通所型サービスを提供する。 地域との連携をより一層強化し、自立支援・重度化防止に資するサービスを充実し、各種加算の維持・取得に努める。 一日平均利用者数：要介護10.0人、要支援等4.0人</p> <p>(1) 職員人件費 総合正規3名、一般正規1名、準正規12名 28,869 (2) 事業費 6,832 ・給食材料費 1,560 ・水道光熱費、燃料費 4,518 ・賃借料（タオルリース料） 108 ・車輛費 636 (3) 事務費 10,603 ・事務消耗品費 274 ・賃借料（エコキュート、送迎車、PC・ソフトリース料等） 4,336 ・施設使用負担金 4,901</p>							
☆：新規 ◎：充実 △：縮小 ×：廃止								

(単位：千円)

拠点区分名									
介護保険サービス									
事業名	事業の概要	収入 予算額	収入内訳				支出 予算額		
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金		その他	
38	デイサービスセンター やすらぎ	39,467			39,467			39,378	
	<p>要介護認定者に対する地域密着型通所介護（利用定員18名）、及び要支援認定者に対する新しい総合事業における通所型サービスを提供する。 地域との連携をより一層強化し、自立支援・重度化防止に資するサービスを充実し、各種加算の維持・取得に努める。 一日平均利用者数：要介護13.0人、要支援等1.5人</p> <p>(1) 職員人件費 総合正規2名、一般正規3名、準正規8名</p> <p>(2) 事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食材料費 1,320 ・水道光熱費、燃料費 2,768 ・賃借料（タオルリース料） 60 ・車輛費 583 <p>(3) 事務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務消耗品費 436 ・賃借料（送迎車、PC・ソフトリース料等） 1,920 ・施設使用負担金 2,114 						25,329	4,741	5,480
拠点区分計		330,321	0	5,947	299,843	24,465	66	333,682	
☆：新規 ◎：充実 △：縮小 ×：廃止									

(単位：千円)

拠点区分名								
障害福祉サービス								
事業名	福祉事業の概要	収入 予算額	収入内訳				支出 予算額	
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入金 その他		
39	自立支援総務	40,738				40,738	40,738	
障害福祉サービス事業の請求事務他の総務業務								
(1) 職員人件費 総合正規3名(各6月分)、総合正規1名		17,734						
(2) 事業費(車両費)		189						
(3) 事務費(福利厚生費、研修研究費、賃借料等)		1,753						
(4) 法人運営拠点区分繰入金支出 (法人全体に係る経費の按分額等)		17,972						
(5) 障害者相談支援センターサービス区分繰入金支出		3,090						
事業名	事業の概要	収入 予算額	財源内訳				支出 予算額	
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入金 その他		
40	障害者相談支援センター	6,991			3,901	3,090	6,991	
福祉サービスを利用する障害者に対して、サービス等利用計画の作成を行うとともに、継続的にサービス利用に係る相談や支援を行う。								
(1) 職員人件費 一般正規3名		5,896						
(2) 事業費(車両費等)		170						
(3) 事務費(事務消耗品費、訪問車両賃借料等)		877						
事業名	就労支援事業の概要	収入 予算額	収入内訳				支出 予算額	
			製造製品売上	仕入商品売上	受託加工売上	その他		
41	ゆめわーく(生活)	1,625	370	1,110	145		1,625	
指定生活介護(利用定員15名)の経営を行う。下記就労継続支援B型事業とともに多機能型事業所として実施する。								
利用者に必要な日常生活上の支援やリハビリテーションを行い、日中の生活支援の場と併せて働く機会の提供を行う。								
一人当たり月平均工賃：4,000円								
(1) 材料費		5						
(2) 労務費		640						
(3) 経費等		0						
(4) 商品仕入費		980						
福祉事業等の概要	収入 予算額	収入内訳				支出 予算額		
		会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入金 その他			
	34,301			34,301		32,696		
一日平均利用人数：13.5人								
(1) 職員人件費 総合正規3名、一般正規1名、準正規6名		23,141						
(2) 事業費		1,916						
・給食材料費		121						
・水道光熱費、燃料費		796						
・車両費		536						
(3) 事務費		2,253						
・事務消耗品費		200						
・賃借料(送迎車両リース料等)		1,592						
☆：新規 ◎：充実 △：縮小 ×：廃止								

拠点区分名
障害福祉サービス

(単位：千円)

事業名	就労支援事業の概要	収入 予算額	収入内訳				支出 予算額	
			製造製品売上	仕入商品売上	受託加工売上	その他		
42 ゆめわーく (B)	<p>指定就労継続支援B型（利用定員25名）の経営を行う。上記生活介護事業とともに多機能型事業所として実施する。</p> <p>利用者の働く意欲を引き出して自立に向かう力を養うとともに、工賃アップに向けて織り製品を中心とした自主製品等の製造、販売を行う。また、施設内及び施設外で行う受託作業の受託企業等の開拓に努める。</p> <p>一人当たり月平均工賃：11,000円</p> <p>(1) 材料費 250 (2) 労務費 3,033 (3) 外注加工費 80 (4) 経費等 243 (5) 商品仕入費 1,593</p>	5,199	465	2,280	2,454		5,199	
	福祉事業等の概要	収入 予算額	会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入金	その他	支出 予算額
		46,752			46,752			51,747
	<p>一日平均利用人数：25.5人</p> <p>(1) 職員人件費 総合正規2名、一般正規3名、準正規7名 28,727 (2) 事業費 3,893 ・給食材料費 235 ・水道光熱費、燃料費 1,591 ・賃借料（研修旅行バス借上げ料等） 612 ・車輛費 1,021 (3) 事務費 9,185 ・事務消耗品費 300 ・賃借料（送迎車両リース料等） 3,183 ・施設使用負担金 4,456</p>							
事業名	就労支援事業の概要	収入 予算額	収入内訳				支出 予算額	
43 輪っこはう す・コスモ スの家 (生活)	<p>指定生活介護（利用定員10名）の経営を行う。下記就労継続支援B型事業とともに多機能型事業所として実施する。</p> <p>利用者に必要な日常生活上の支援やリハビリテーションを行い、日中の生活支援の場と併せて働く機会の提供を行う。</p> <p>一人当たり月平均工賃：2,000円</p> <p>(1) 材料費 5 (2) 労務費 491 (3) 経費等 40 (4) 商品仕入費 116</p>	652	30	186	436		652	
	福祉事業等の概要	収入 予算額	会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入金	その他	支出 予算額
		39,564			39,564			35,820
	<p>一日平均利用人数：12.0人</p> <p>(1) 職員人件費 総合正規2名、一般正規2名、準正規7名 27,791 (2) 事業費 1,250 ・給食材料費 171 ・水道光熱費、燃料費 30 ・車輛費 409 (3) 事務費 2,594 ・事務消耗品費 200 ・賃借料（送迎車両リース料等） 2,020</p>							

☆：新規 ◎：充実 △：縮小 ×：廃止

拠点区分名
障害福祉サービス

(単位：千円)

事業名	就労支援事業の概要	収入 予算額	収入内訳				支出 予算額	
			製造製品売上	仕入商品売上	受託加工売上	その他		
44 輪っことはうす・コスモスの家 (B)	<p>指定就労継続支援B型（利用定員30名）の経営を行う。上記生活介護事業とともに多機能型事業所として実施する。</p> <p>利用者の特性を生かしながら働く意欲を引き出し、自立に向かう力を養うとともに、工賃アップに向けて受託加工作業や自主製造製品等の販売を行う。施設外就労及び施設外支援の強化を図る。</p> <p>一人当たり月平均工賃：15,000円</p> <p>(1) 材料費 836 (2) 労務費 9,816 (3) 経費等 374 (4) 商品仕入費 2,120</p>	13,147	2,750	2,654	7,743		13,147	
	福祉事業等の概要	収入 予算額	会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他	支出 予算額
		60,551			60,551			48,497
	<p>一日平均利用人数：35.0人</p> <p>(1) 職員人件費 総合正規2名、一般正規3名、準正規10名 30,862 (2) 事業費 2,749 ・給食材料費 208 ・水道光熱費、燃料費 984 ・車輛費 1,126 (3) 事務費 3,495 ・事務消耗品費 400 ・賃借料（送迎車両リース料等） 913 ・土地賃借料 815</p>							
事業名	就労支援事業の概要	収入 予算額	収入内訳				支出 予算額	
			製造製品売上	仕入商品売上	受託加工売上	その他		
45 さくらの家 (生活)	<p>指定生活介護（利用定員10名）の経営を行う。下記就労継続支援B型事業とともに多機能型事業所として実施する。</p> <p>利用者に必要な日常生活上の支援やリハビリテーションを行い、日中の生活支援の場と併せて働く機会の提供を行う。</p> <p>一人当たり月平均工賃：3,800円</p> <p>(1) 材料費 100 (2) 労務費 456 (3) 経費等 0 (4) 商品仕入費 116</p>	672	280	310	82		672	
	福祉事業等の概要	収入 予算額	会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入 金	その他	支出 予算額
		21,746			21,746			23,396
	<p>一日平均利用人数：8.5人</p> <p>(1) 職員人件費 総合正規1名、一般正規1名、準正規4名 13,632 (2) 事業費 3,326 ・給食材料費 142 ・水道光熱費、燃料費 2,635 ・車輛費 431 (3) 事務費 2,667 ・事務消耗品費 200 ・賃借料（送迎車両リース料等） 735 ・施設使用負担金等 914</p>							

☆：新規 ◎：充実 △：縮小 ×：廃止

(単位：千円)

拠点区分名									
障害福祉サービス									
事業名	就労支援事業の概要	収入 予算額	収入内訳					支出 予算額	
			製造製品売上	仕入商品売上	受託加工売上		その他		
46	さくらの家 (B)	9,784	1,570	4,460	3,754			9,784	
<p>指定就労継続支援B型（利用定員25名）の経営を行う。上記生活介護事業とともに多機能型事業所として実施する。</p> <p>利用者の働く意欲を引き出し、自立に向かう力を養うとともに、工賃アップに向けて観桜期のここにこショップの運営体制の見直し等を行い、自主製造製品や仕入れ商品の販売強化を図る。</p> <p>一人当たり月平均工賃：18,500円</p> <p>(1) 材料費 640</p> <p>(2) 労務費 5,930</p> <p>(3) 経費等 214</p> <p>(4) 商品仕入費 3,000</p>									
福祉事業等の概要		収入 予算額	収入内訳					支出 予算額	
			会費	補助金 受託金	介護保険 障害福祉	拠点区分・サー ビス区分間繰入金	その他		
		44,003			44,003			42,626	
<p>一日平均利用人数：23.0人</p> <p>(1) 職員人件費 総合正規2名、一般正規4名、準正規等6名 26,086</p> <p>(2) 事業費 2,828</p> <p>・給食材料費 298</p> <p>・水道光熱費、燃料費 706</p> <p>・賃借料（研修旅行バス借上げ料） 250</p> <p>・車輛費 1,373</p> <p>(3) 事務費 2,888</p> <p>・事務消耗品費 236</p> <p>・賃借料（送迎車両リース料等） 1,708</p> <p>・施設使用負担金等 157</p>									
拠点区分計		就労支援	31,079	5,465	11,000	14,614	0	0	31,079
		福祉	294,646	0	0	250,818	43,828	0	282,511
☆：新規 ◎：充実 △：縮小 ×：廃止									